

# 令和4年度 第2回 佐久市立図書館協議会 次第

日 時：令和5年2月16日（木）

午後1時30分～午後3時

場 所：中央図書館 2階 視聴覚室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 教育長あいさつ

## 4 会議事項

### (1) 令和4年度事業報告（p.1～8）

質疑応答

### (2) 令和5年度運営方針と事業計画（案）（p.9～13）

質疑応答

### (3) 中央図書館建替再整備進捗状況について

#### ア 市民アンケート・ワークショップについて

【再整備関係資料1・2】

#### イ 検討委員会について

【再整備関係資料3】

#### ウ 視察について

【再整備関係資料4】

#### エ 質疑応答・意見交換

### (4) その他

## 5 閉 会

1 令和4年度事業報告（令和5年1月末現在）

(1) 図書館利用状況

( )内は前年度同時期比(%)

図書館名	区分	入館者数 (人)	有効登録者数 (人)	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)
中央 (草笛号含む)	一般	124,374 (95.1)	33,805	131,815	41,065
	児童		3,853	147,168	13,935
	団体		265		1,597
	合計		37,923 (103.1)	278,983 (95.0)	56,597 (97.6)
サングリモ中込	一般	10,370 (103.5)	1,341	19,088	6,145
	児童		497	15,549	1,430
	団体		13		508
	合計		1,851 (103.1)	34,637 (101.4)	8,083 (103.2)
白田	一般	23,428 (119.0)	6,337	33,067	10,613
	児童		747	43,611	3,674
	団体		69		565
	合計		7,153 (103.1)	76,678 (109.8)	14,852 (115.9)
浅科	一般	17,465 (82.6)	4,252	28,688	7,949
	児童		607	29,994	2,679
	団体		47		416
	合計		4,906 (101.7)	58,682 (95.7)	11,044 (97.2)
望月	一般	18,275 (118.2)	4,073	21,340	6,595
	児童		492	14,083	1,772
	団体		52		477
	合計		4,617 (102.3)	35,423 (88.6)	8,844 (96.4)
合計	一般	193,912 (98.4)	49,808	233,998	72,367
	児童		6,196	250,405	23,490
	団体		446		3,563
	合計		56,450 (102.9)	484,403 (97.1)	99,420 (100.3)

## (2) 配送実績

(単位:冊) ( )内は前年度同時期比(%)

配送先 配送元	中央	草笛号	サングリモ	白田	浅科	望月	合計
中央		3,728	8,782	12,768	12,140	6,329	43,747
草笛号	2,335		421	315	294	274	3,639
サングリモ	7,659	422		2,702	1,600	1,234	13,617
白田	11,322	386	2,526		2,732	1,336	18,302
浅科	9,449	258	1,669	2,480		2,669	16,525
望月	5,205	304	1,163	1,257	3,045		10,974
合計	35,970	5,098	14,561	19,522	19,811	11,842	106,804 (103.4)

\*貸出冊数に占める配送冊数の割合(配送冊数÷貸出総冊数×100) 22.0%

前年同時期 18.6%

## (3) 移動図書館「草笛号」利用状況

( )内は前年度同時期比(%)

コース	巡回地区	実施	総貸出	平均貸出
		回数	冊数	冊数 1回
1	岩村田 小田井	12	1,377	115
2	平尾 東 瀬戸	13	1,192	92
3	中佐都 高瀬	13	1,369	105
4	内山 平賀 中込(一部)	13	1,032	79
5	野沢 中込(一部)	13	1,940	149
6	桜井 前山 岸野	12	1,777	148
7	白田 浅科 望月	13	2,618	201
小計		89	11,305 (98.8)	
児童館	12児童館	12	5,351	
合計		101	16,656	

## (4) 読書通帳交付件数

(冊)

図書館	区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
中央	無料	1,181	602	607	640	583	614	589	524	544	5,884	
	有料	262	235	146	142	117	117	116	101	88	1,324	
	合計	1,443	837	753	782	700	731	705	625	632	7,208	
サングリモ	無料	251	69	72	80	84	78	52	50	41	777	
	有料	43	17	26	24	16	17	19	12	15	189	
	合計	294	86	98	104	100	95	71	62	56	966	
白田	無料	220	93	101	163	151	51	0	52	105	936	
	有料	71	25	33	25	33	19	0	25	27	258	
	合計	291	118	134	188	184	70	0	77	132	1,194	
浅科	無料	216	86	76	68	105	94	98	95	74	912	
	有料	68	32	17	19	15	29	24	30	16	250	
	合計	284	118	93	87	120	123	122	125	90	1,162	
望月	無料	315	101	82	60	74	44	47	37	33	793	
	有料	95	25	31	31	27	35	34	34	27	339	
	合計	410	126	113	91	101	79	81	71	60	1,132	
合計	無料	2,183	951	938	1,011	997	881	786	758	797	9,302	79.8%
	有料	539	334	253	241	208	217	193	202	173	2,360	20.2%
	合計	2,722	1,285	1,191	1,252	1,205	1,098	979	960	970	11,662	100.0%

	内訳(交付時)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
無料分	小学生	1,287	503	477	463	462	399	342	344	365	4,642	49.9%
	中学生	222	77	51	60	39	38	24	19	28	558	6.0%
	幼保・乳児	674	371	410	488	496	444	420	395	404	4,102	44.1%
	合計	2,183	951	938	1,011	997	881	786	758	797	9,302	100.0%

## (5) 読書通帳2冊目以上の利用者

通帳冊数	(図書) 冊数	小学生	中学生	幼保・ 乳児等	一般	合計 (実人数)
1 冊 目		3,012	387	3,092	1,675	8,166
2 冊 目	216	719	52	575	266	1,612
3 冊 目	432	372	30	240	138	780
4 冊 目	648	207	26	104	74	411
5 冊 目	864	131	17	51	48	247
6 冊 目	1,080	77	10	21	34	142
7 冊 目	1,296	53	8	10	25	96
8 冊 目	1,512	28	6	5	21	60
9 冊 目	1,728	17	5	2	15	39
10 冊 目	1,944	9	3	1	10	23
11 冊 目	2,160	5	2	1	7	15
12 冊 目	2,376	5	1		4	10
13 冊 目	2,592	3			4	7
14 冊 目	2,808	2			4	6
15 冊 目	3,024	1	1		4	6
16 冊 目	3,240	1	1		4	6
17 冊 目	3,456		2		3	5
18 冊 目	3,672		1		3	4
19 冊 目	3,888		1		3	4
20 冊 目	4,104		1		3	4
21 冊 目	4,320		1		2	3
22 冊 目	4,536		1		2	3
23 冊 目	4,752		1		2	3
24 冊 目	4,968		1		1	2
25 冊 目	5,184				2	2
26 冊 目	5,400				2	2
27 冊 目	5,616				2	2
28 冊 目	5,832				2	2
合 計		4,642	558	4,102	2,360	延人数 11,662

(6) インターネット予約登録者数

(人)

館名	中央	臼田	浅科	望月	サングリモ申込	合計
登録者数	1,452	222	178	146	151	2,149

前年度同時期比 101.6%

(7) インターネット予約件数

( )内は前年度同時期比

	図 書 (冊)	雑 誌 (冊)	合 計 (冊)
平成27年11月1日～ 平成28年3月31日	1,542	87	1,629
平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	4,591	250	4,841
平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	8,020	269	8,289
平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	11,703	287	11,990
平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	13,068	345	13,413
令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	22,578	482	23,060
令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	30,022	432	30,454
令和4年4月1日～ 令和5年1月31日	26,006	381	26,387 (107.1%)

※インターネット予約は平成27年11月1日から開始。

※令和4年度1月末の総予約件数(35,672冊)のうち、インターネット予約の割合は、74.0%を占めている。

## (8) 事業実績

## ア 各館事業

図書館名	開催行事	日程	回数・日数	参加人数	備考
中央	「おはなしの会」児童向け	第2・第3土曜日/月	13	133	
	「おはなしの会」乳幼児向け	第3木曜日/月	6	142	
	「語りのおもてなし」	第4土曜日/月	8	84	
	「子ども読書まつり」	5月2日(土)			中止
	「夏休みワクワク子ども実験室」	8月2日(火)			中止
	「夏休みおはなしの会」	8月6日(土)	1	4	
	「クリスマスおはなしの会」	12月10日(土)、15日(木)、17日(土)	3	69	
	「音読者養成講座」	11月9日(水)、18日(金)、30日(水) 1月13日(金)、18日(水)、25日(水)	6	67	
	「まちづくり講座」	5月6日(金)、17(火)、11月25日(金)	3	42	
	「読み聞かせ講習会」	3月6日(月)、11日(土)、18日(土)			
	図書館ミニ講座「さくの先人を語る」	毎月最終土曜日	9	194	
白田	「ブック☆ブックお話の会」	第3土曜日/月	8	37	
	「ちいさい子のおはなし会」	奇数月(第2水曜日)	5	32	
	「お話の会スペシャル」	7月24日(日)	1	9	
	「星と宇宙のパネル写真展」	7月23日(土)～8月18日(日)	26		入館者数2,620
	「布子会手作り教室」	10月15日(土)	1	14	
	「クリスマスおはなしの会」	12月10日(土)	1	4	
浅科	「おはなし会」	第3土曜日/月	6	27	
	「ちいさい子のおはなし会」	偶数月(第2木曜日)	3	21	
	「夏休みおはなしの会」	7月23日(土)	1	2	
	「クリスマスおはなしの会」	12月17日(土)	1	5	
望月	「ものがたりふれあいトーク」	第4土曜日/月	6	23	
	「ちいさい子のおはなし会」	奇数月(第2金曜日)	5	39	
	「クリスマスものがたりふれあいトーク」	12月11日(日)	1	8	
	「製本講習会」	3月5日(日)			
計			114	956	

イ 共通事業

行事	1日司書 職場体験 キャリア教育	雑誌リサイクル市	秋の読書まつり 10月27日(木) ～11月9日(水)	図書館講座
中央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7小学校 18人</li> <li>・3中学校 7人</li> <li>・1高校 11人</li> <li>・2大学 2人</li> <li>・一般(異業種) 2人</li> <li>・就労支援 3人</li> </ul>	10月1日(土)・2日(日) (ぞっこんさく市) 草笛号入館者数 176人 リサイクル率 91.9% 10月29日(土)・30日(日) 入館者数 1,275人 リサイクル率 75.7%	入館者数 5,610人 前年度比 89.9%	<講演会> 11月19日(土) accototoさん (ふくだとしお・あきこ夫妻) 演題「絵本作りと日々のこと」 ・佐久平交流センター ・市P連父親母親文庫委員会 との共催 108人
臼田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4小学校 7人</li> <li>・1高校 2人</li> </ul>	10月29日(土)・30日(日) 入館者数 280人 リサイクル率 87.9%	入館者数 1,130人 前年度比 108.1%	
浅科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1小学校 2人</li> </ul>	8月6日(土)・7日(日) 入館者数 223人 リサイクル率 84.8%	入館者数 838人 前年度比 77.2%	
望月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1小学校 2人</li> </ul>	8月6日(土)・7日(日) 入館者数 195人 リサイクル率 80.9%	入館者数 858人 前年度比 110.0%	
計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13小学校 29人</li> <li>・3中学校 7人</li> <li>・2高校 13人</li> <li>・2大学 2人</li> <li>・一般(異業種) 2人</li> <li>・就労支援 3人</li> </ul>	入館者数 2,460人	入館者数 8,436人 前年度比 92.2%	108人



ウ 一日司書体験(小学生)・職場体験(中学生)事業の概況

図書館	学校名	月 日(曜)	人 数
中 央	佐久平浅間小学校	5月28日(土)	3
	中 込 小学校	6月25日(土)	4
	岩 村 田 小学校	7月16日(土)	4
	中 佐 都 小学校	7月23日(土)	2
	野 沢 小学校	8月20日(土)	中止
	岸 野 小学校	8月27日(土)	中止
	高 瀬 小学校	9月 3日(土)	中止
	平 根 小学校	9月24日(土)	中止
	東 小学校	10月15日(土)	2
	泉 小学校	10月22日(土)	1
	佐久城山 小学校	11月26日(土)	2
	長 聖 中学校	9月21日(水)	2
	東 中学校	10月27日(木)・28日(金)	3
	浅 間 中学校	11月 8日(火)	2
白 田	白 田 小学校	7月30日(土)午前	
	田 口 小学校	7月30日(土)午後	
	切 原 小学校	7月31日(日)午前	
	青 沼 小学校	7月31日(日)午後	
浅 科	浅 科 小学校	7月23日(土)	2
望 月	望 月 小学校	7月16日(土)	2
合 計	小学校 13校 中学校 3校		小学生29人 中学生 7人

# 令和5年度 図書館運営方針と事業計画

佐久市立図書館

## 1. 基本方針

図書館は、人類の英知を集積し次の時代を創造する拠点であると言われてはいますが、「知識」と「情報」がますます重要となっている「知識基盤社会」においては、単に本を借りるというだけではなく、様々な情報や学習機会を提供する生涯学習のための重要な場でもあります。

当市立図書館は、市内に5つあるそれぞれの館の特徴を活かしながら連携し、社会の要請や利用者の要望に応えながら地域の実情にも配慮し、多様化する利用者ニーズに応えることのできる図書館として機能の充実に努めます。また、電子情報を用いた情報サービスや地域の課題解決に対応する各種サービスの充実に努め「親しまれる図書館、集いやすい図書館」を目指します。

## 2 基本目標

- (1) 資料の収集・保存と活用
- (2) 読書活動の推進
- (3) 課題解決のための調査相談業務・情報センター機能の充実
- (4) 関係機関とのネットワークによる生涯学習支援の充実
- (5) 図書館職員のスキルアップ

## 3 基本目標に基づく取り組み

- (1) 資料の収集・保存と活用
  - ア 各館に特徴を持たせ、5館全体で利用者の要望に応えられる図書の購入
  - イ 郷土関係資料の収集・保存・提供
  - ウ デジタルアーカイブ化
- (2) 読書活動の推進
  - ア 読書量の増加や読書意欲の向上を図るため読書通帳の利用促進
  - イ 子どもの読書活動の推進
    - ・「第3次佐久市子ども読書活動推進計画」に基づく、子どもの読書環境整備
    - ・ブックスタート事業、セカンドブック事業の実施
    - ・図書館ボランティアとの協力による「読み聞かせ」の実施
    - ・保育園、幼稚園、小中学校、佐久市PTA連合会父親母親文庫委員会との連携
  - ウ 録音図書の充実
    - ・図書館ボランティアとの連携による録音図書の作成
    - ・音読者養成講座による録音図書作成の人材育成
  - エ 移動図書館の充実
  - オ 電子図書館「デジとしよ信州」の活用
- (3) 課題解決のための調査相談業務・情報センター機能の充実
  - ア 調査相談業務(レファレンスサービス)の充実
  - イ 他の行政機関との連携による地域情報、行政情報等の提供
  - ウ 情報機器を利用した情報提供
  - エ 図書館事業の情報提供と広報活動

- (4) 関係機関とのネットワークによる生涯学習支援の充実
  - ア 佐久市文化施設との連携
  - イ 医療機関との連携による本の貸出
- (5) 図書館職員の専門性の向上
  - ア 図書館ミーティングの充実
  - イ 職員研修の実施  
(紙芝居講座・読み聞かせ講座・初級レファレンス講座等)

#### 4 広報・宣伝について

##### (1) 広報・宣伝

- ア 市広報誌「サクラライフ」へのイベント等の掲載 (毎月発行)
- イ 公民館報へのイベント等の掲載 (年5回発行)
- ウ 市ホームページへの図書館事業内容の掲載 (随時更新)
- エ 佐久ケーブルテレビへの出演による図書館職員の本の紹介
- オ FMさくいだいら市政情報のコーナーへの出演 (随時)

##### (2) 関係機関との連携

- ア 学校、各種団体への貸出
- イ 図書館及び移動図書館 (草笛号) の見学の受け入れ
- ウ 小学生一日司書体験の実施
- エ 中学校職場体験の受け入れ
- オ インターンシップの受け入れ

#### 5 各館の事業

##### 【中央図書館】 ～「魅力ある図書館」を目指して～

劣化が進む郷土資料のデジタル化を進めるとともに、レファレンスや各種情報提供の充実に努める。また、ボランティア団体やPTAと協働による講演会等を開催するなど読書の推進を図る。

建替再整備に向けた検討をすすめ、蔵書についても整理を行っていく。

##### (1) 本年度の具体的事業推進日程等

- ① おはなしの会 第2土曜日 絵本の読み聞かせ、子どもから大人対象  
第3木曜日 絵本の読み聞かせ、乳幼児対象
- ② 子ども読書まつり 5月6日 (土) 絵本の読み聞かせ、パネルシアターなど
- ③ 夏休みわくわく実験室 8月1日 (火)
- ④ 夏休みおはなしの会スペシャル 8月5日 (土)
- ⑤ 秋の読書まつり 10月27日 (金)～11月9日 (木)  
雑誌リサイクル市 10月28日 (土)、29日 (日)
- ⑥ 図書館講座 日程未定  
講師：青木理 (ジャーナリスト) 小木田順子 (柗幻冬舎新書編集長)  
会場：佐久市交流文化館浅科
- ⑦ 読書通帳10冊達成者表彰式 日程未定  
読書通帳5冊達成者表彰式 9月、3月 年2回
- ⑧ 音読者養成講座 11月 8日 (水)・15日 (水)・22日 (水)  
1月10日 (水)・17日 (水)・24日 (水)
- ⑨ おはなしの会クリスマススペシャル  
12月9日 (土)、16日 (木)、21日 (土)

- ⑩ 図書館ミニ講座「佐久の先人を語る」 毎月最終土曜日
- ⑪ 一日司書体験 旧佐久市の小学校11校（6年生対象）  
5月～11月 毎月1校～2校ずつ実施
- ⑫ 団体貸出 毎月最終火曜日  
旧佐久市の児童館12館に50冊ずつ出張貸出
- ⑬ 移動図書館車（草笛号）の実施  
中型バス1台（積載可能冊数2,500冊）により、市内全7コース71ステーションを巡回。毎週水・木・金曜日に実施（各コース原則3週間毎）。
- ⑭ 各種サークル活動
 

音の会	第1・3火曜日	録音図書（DAISY資料）の作製
ザ・フレンズ朗読会	第1・4水曜日	朗読の勉強会と朗読会
絵本の会	第1木曜日	絵本の勉強会
図書館友の会	第1金曜日	読書感想の発表
賢治を読む会	第2水曜日	宮沢賢治作品の読み合わせ
中山道史友会	第2木曜日	中山道の歴史を学ぶ
ぽっけおはなしの会	第3土曜日	絵本の読み聞かせ
あかりの会	第4土曜日	昔ばなしの語り

【サングリモ中込図書館】 ～「立地を生かした図書館」をめざして～

公的な福祉関連機関の事務所と一般市民の居住する複合施設内にあることや、JR中込駅前に立地する条件を活かし、利用者のニーズに合わせた選書に心がける。

また、都市計画事業によるサングリモ中込再整備事業が進められる中、魅力ある図書館となるよう関係部署と協議をすすめる。（別紙資料参照）

[注・佐久市HP参照 中込まちづくり構想]

【臼田図書館】 ～「気持ちよく利用できる図書館」を目指して～

文化活動施設（コスモホール）内にあり、各種イベントへの来館者も多いため、幅広い年齢層のニーズを把握し、気持ちよく利用できる図書館になるよう努める。また、郷土資料や「星のまちうすだ」にふさわしい宇宙に関する資料を充実させる。

新臼田小学校との連携を深め、支援ができるような資料収集を心がける。

(1) 本年度の具体的事業推進日程等

- ① ブック☆ブックお話し会 第3土曜日
- ② ちいさい子のおはなし会 奇数月第2水曜日
- ③ 星と宇宙のパネル写真展 7月29日（土）～8月18日（金）
- ④ おはなしの会スペシャル 7月30日（日）
- ⑤ 秋の読書まつり 10月27日（金）～11月9日（木）  
雑誌リサイクル市 10月28日（土）、29日（日）
- ⑥ おはなしの会クリスマススペシャル 12月9日（土）
- ⑦ 手作り教室 日程未定 講師：布子会（臼田図書館ボランティアグループ）
- ⑧ 一日司書体験 臼田小学校（6年生対象）  
7月29日（土） 午後
- ⑨ 団体貸出 毎月最終火曜日  
臼田地区6保育園、1幼稚園に50冊ずつ出張貸出
- ⑩ 新臼田小学校全児童の利用者登録 授業での図書館利用
- ⑪ 各種サークル活動

おしゃべりたまご「ブック☆ブックお話し会」 第3土曜日  
布子会 第3木曜日 布絵本の作製

【浅科図書館】 ～「ゆったりとした時間を過ごせる図書館」を目指して～

木造りの環境を活かし、ゆったりとした時間を過ごせる空間を提供する。また、図書館ボランティアグループや隣接する複合文化施設と連携により入館者増を目指す。さらに、浅科地区にある文化施設のイベントに併せたコーナーを設置するなど、情報を発信する。

(1) 本年度の具体的事業推進日程等

- ① おはなしの会 第3土曜日
- ② ちいさい子のおはなし会 偶数月第3木曜日
- ③ おはなし会スペシャル 7月29日(土)
- ④ 雑誌リサイクル市 8月5日(土)、8月6日(日)
- ⑤ 秋の読書まつり 10月27日(金)～11月9日(木)
- ⑥ おはなし会クリスマススペシャル 12月16日(土)
- ⑦ クリスマスちいさい子のおはなし会 12月21日(木)
- ⑧ 一日司書体験 7月29日(土) 浅科小(6年生対象)
- ⑨ 団体貸出 浅科児童館に出張貸出 月1回50冊
- ⑩ 各種サークル活動
  - 子ども本の会 原則第1土曜日
  - パネルシアターの会 不定期
  - 読書会 原則第3日曜日

【望月図書館】 ～「学び・集い・憩える空間を提供する図書館」を目指して～

「読書に心地よい椅子」の設置や「歴史を語る部屋」の利用により、ゆったりと落ち着いて読書が楽しめる環境を整える。また、中山道の宿場であり、書家「比田井天来」の生誕の地であることから、「書」、「馬」、「中山道」など望月に関する資料の充実を図る。

望月地区にある文化施設のイベントに併せたコーナーづくりをするなど、地域の魅力を発信する。また、小中学校との連携を深め、支援ができるような資料収集を心がける。

(1) 本年度の具体的事業推進日程等

- ① ものがたりふれあいトーク 第4土曜日
- ② ちいさい子のおはなし会 奇数月第2金曜日
- ③ 雑誌リサイクル市 8月5日(土)、8月6日(日)
- ④ もちづき子どもまつり(公民館主催) 7月23日(日)
- ⑤ 秋の読書まつり 10月27日(金)～11月9日(木)
- ⑥ クリスマスふれあいトークスペシャル 12月9日(土)
- ⑦ 製本講習会 3月3日(日)
- ⑧ 一日司書体験 7月15日(土) 望月小(6年生対象)
- ⑨ 団体貸出 望月児童館に出張貸出 月1回50冊
- ⑩ 各種サークル活動
  - おはなしの泉 ものがたりふれあいトークボランティア
  - おはなしの玉手箱 ものがたりふれあいトークボランティア

## 6 その他

### (1) 図書館協議会の活動

- ① 図書館協議会の開催 年3回 図書館の運営に意見を反映
- ② 研修の実施 年1回 県内外の図書館視察研修

### (2) 子ども読書活動推進懇話会の活動

- ① 子ども読書活動推進懇話会の開催（年2回）
- ② 第3次佐久市子どもの読書活動推進の実践と具体的な行動の主体

### (3) 佐久市PTA連合会父親母親文庫委員会の活動支援

読み聞かせ講習会への協力

### (4) 図書館ボランティアへの支援・協力

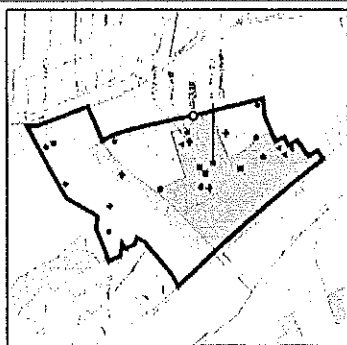
# 【その他資料】

**中込地区 まわるまち 構想 概要**

- 全国的な少子高齢化・東京圏への人口一極集中も相まって、人口減少が喫緊の課題であり、これに対応するため、「若い人の希望をかえ、深げられるまち」を目指した地方創生の取組を推進
- 地域の中心拠点の質を高めることで、ゆるやかに人口を節約し、一定程度の人口密度を維持することで、将来にわたって持続可能なまちづくりを進める「地域ごとの特徴を踏まえた」機能的集約・ネットワーク型まちづくり」を推進
- 令和元年度に策定した「野沢地区暮らし構想」に続き、佐久市立地適正化計画、野沢地区とひとつの中心拠点を形成している中込地区においても、この機を捉え、これからのまちづくりを、それに関わる多くの主体で共有し、同じ方向を向いて具現化していくため、「中込地区まわるまち構想」を策定

## 1 構想の策定方針

- (1) 地方創生の推進（人口減少への対応）
  - ・ 中心拠点ごとの特徴を踏まえ、まちづくりのコンセプトを明確化する
  - ・ ともに、これらを多くの主体が共有して、まちの高質化に繋がる施策を適切なタイミングで展開
- (2) 既存ストックの活用
  - ・ 各地域の特徴を踏まえ、ターゲット層を誘引し、中心拠点間で一定の人口を分担することで、既存ストックのフル活用を図る施策を展開
- (3) 策定方針
  - ア 中込地区の特徴を捉え、どのようなまちづくりを行うかを目的を明確化し、まちづくりに関する全ての主体が共有することを旨とする
  - イ 民間同士でニーズとサービスの供給関係が成立し、行政が補完する形でまちづくりを推進することを旨とする
  - ウ 民間主導でまちづくりが進むことを目指す
  - エ 佐久市立地適正化計画において、中込地区とともに「同一」の中心拠点を構成する野沢地区の「暮らし機能」を動員し、これと役割分担を相互補完するまちを目指す



構想の対象エリア

## 2 中込地区の概要

- 市域では、江戸時代以降、岩村田地区と野沢地区が商業集積地として機能してきたが、芦金面・技術面による橋梁建設の困難さを背景に、千曲川右岸に佐久鉄道（現・JR小海線）が開通した大正時代以降、中込地区に、駅を中心とした新たな商業集積地が形成
- 昭和中期には、商店街、商品販売額とともに他地区と比べて突出するなど、中込地区は市内の商業の中心地に発展
- さらに、1970年代、狭い街路や駐車場不足、防災や衛生上の課題などの解決のため、中込橋土地区画整理事業及び中込商店街近代化事業が実施され、近代的な街並みが整備され、商店と料飲店が比較的に明確に分かれる現在の景観が形成
- 1990年代に入ると、高速交通網の発達に伴い、ICや新幹線駅周辺に大型商業施設の立地が進むなど商業環境が変化し、中込地区では、1997年をピークに、商店街、年間商品販売額、売り場面積とも大幅に減少
- 近年は、撤退した大型商業施設跡地に、多様な機能を持つ複合型公共施設「サングリモ中込」、二次医療圏を担う医療機関と公民館の複合施設や、富民のテレワーク施設などが設置
- 近年の商業環境の変化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、既存の商業店舗等には廃業がみられ、中込地区が「商業のまち」として未だに継続していくための分水嶺に達し掛かっている状況

## 3 市民協働による構想の検討及びまちづくりの実現

- 本構想の策定に当たり、中込地区に暮らす住民を中心として、様々な年齢層や立場の方々から意見をいただく機会として、「中込地区のまちづくりの在り方検討会」を開催し、「構想の策定方針」を踏まえ、まちづくりの方向性の検討を行う。

### 検討結果

・ 中込は「商業のまち」であるので、人が集まる場所であることは必須

- ・ その中でも、「中込らしく人が集まる」とは何か…?
- ・ まちに賑わいがあった少い昔、ここに集まってきた人はまちに何を求めていたか
- ・ 目的は人それぞれ（買い物・食事・映画・花火大会・信屋屋・スナックなど…）だったが、中込に求めるだけで心のどこかに漠然としたワクワク感を抱いていたのでは？

## 4 まちづくりの方向性

### 【中込地区のまちの将来像】

かつて誰もがこのまちに感じたワクワク感を時代に沿ってリニューア  
ルし、「人それぞれの新たなワクワクを感じに、多くの人が集うまち」  
を目指す

### < 基本的スタンス >

① 「本気の民間」が主体的にまちづくり活動を進め、

行政が全力でサポートする

② その民間の努力が、様々な形で果実となってリターンする仕組みを構築することで、好循環で「まわる」まちづくりを目指す

「官民それぞれの役割分担と、中込のまちが円滑に「まわる」ために必要な仕組み（必要な要素と具体的な取組例）を構想にまとめ、これを具現化していくことで、まちの将来像を実現していくことを目指す。

### 【官民それぞれの役割分担】

#### 民間

- 自ら考え、動き、主体者となってまちづくりを行う
- まちづくり活動を気軽に行える仕組みの構築、オープンに對話できる場の設置
- まちで何か始めようとする人の導入を促進するまちの人の人のメインドの醸成
- まちで事業を始められることに繋がる空き店舗の流動化
- まちづくり活動のまちの内外への効果的な発信 など

#### 行政

- 民間が行おうとするまちづくりの取組に対し、ソフト・ハードの両面から支援する
- ソフト支援
  - ・ 取組に向けた事業計画の助言、イベント等の共催・後援や公共施設の使用許可など
  - ・ ハード支援
  - ・ 市が事業主体となった施設整備など



- 自発的なまちづくり活動が展開され、まちの価値を上げ、まちの人＝プレイヤーが増えていくという、小さな「まわる」が生み出される
- そういったまちの活力が地域内外の人＝客を呼び込み、人が利益をもたらし、またまちが活性化していくという、大きな「まわる」が生み出される

## 市民アンケート調査結果

▽調査対象	佐久市に住む15歳以上の男女1,000人
▽調査方法	郵送
▽調査時期	令和4年6月1日(調査票発送)～6月30日(回収締切)
▽有効回収数	477人
(回収率47.7%＝男性 175人 女性 294人 無回答・不明8人)	

問5 現在の中央図書館の広さについてどう思いますか

	(人)	(%)
・狭い	72	15.1
・少し狭い	140	29.4
・ちょうどよい	99	20.8
・少し広い	4	0.8
・広い	4	0.8
・わからない	150	31.4
・不明	8	1.7

【考察】

図書館をほとんど利用していない調査対象者が約6割含まれるが、「少し狭い」と感じている市民が1/3を占めているため、各コーナーの拡大が必要と考えられる。

問6 あなたは中央図書館を1年間にどの程度利用していますか

	(人)	(%)
・週に3回以上	-	-
・週に1、2回程度	2	0.4
・2週間に1回程度	35	7.3
・月に1回程度	41	8.6
・年に数回程度	99	20.8
・過去に数回利用しただけ	145	30.4
・利用していない	154	32.3
・不明	1	0.2

【考察】

図書館をほとんど利用していない調査対象者が約6割含まれる。より多くの市民に利用してもらうための取り組みが求められる。

問7 中央図書館を利用している方にお聞きします。図書館での滞在時間は(利用時間)はどのくらいですか

	(人)	(%)
・30分程度	116	36.0
・1時間程度	91	28.3
・1～2時間程度	28	8.7
・半日程度	7	2.2
・半日以上	4	1.2
・その日による	52	16.1
・不明	24	7.5

【考察】

30分～1時間程度の利用者が多い。長時間利用し易い館内環境等を考慮した新図書館の建設について考慮する必要があると思われる。

問8 中央図書館を利用している方にお聞きします。あなたは中央図書館をどのように利用していますか(複数回答可)

	(人)	(%)
・本を借りる・返す	215	66.8
・館内で調べものをする	74	23.0
・館内で読書する	59	18.3
・館内の新聞・雑誌を読む	46	14.3
・勉強場所として使う	41	12.7
・子どもに読み聞かせをする	13	4.0
・図書館の主催する講座等へ参加する	5	1.6
・その他	7	2.2
・不明	27	8.4

【考察】

本を借りる・返すといった従来の図書館機能による利用者が多い。現代の図書館に求められる「居場所」「くつろげる環境」整備に配慮する必要があると思われる。



## 【再整備関係資料1】

問9 新しい中央図書館に充実させてほしいスペース等（複数回答可）

	(人)	(%)
・ゆっくり読書できるスペース	293	61.4
・のんびり休憩のできるスペース	187	39.2
・集中して勉強できるスペース	166	34.8
・持込タブレット等利用可能スペース	145	30.4
・乳幼児に対応したスペース	119	24.9
・CD・DVDが視聴できるスペース	80	16.8
・イベント・集会等のできる多目的スペース	72	15.1
・その他	40	8.4
・不明	27	5.7

### 【考察】

ゆっくり読書する、のんびり休憩するといった、広くゆったりとした場、落ち着いた個人的な利用が望んでいる。またタブレット利用スペースの拡大など、従来の図書館機能から現代の図書館機能が求められている。

問10 新しい中央図書館に充実させてほしいサービス（複数回答可）

	(人)	(%)
・図書・新聞・雑誌	271	56.8
・中古本・不要本の回収サービス	184	38.6
・インターネット利用による情報サービス	147	30.8
・郷土資料	93	19.5
・健康医療情報サービス	76	15.9
・CD・DVD等の資料	75	15.7
・障がい者へのサービス	74	15.5
・レファレンス・レフェラルサービス	72	15.1
・読み聞かせの会等のサービス	71	14.9
・講演会・展示会等の開催	65	13.6
・移動図書館サービス	42	8.8
・情報格差解消のための学習サービス	37	7.8
・その他	54	11.3
・不明	18	3.8

### 【考察】

図書・新聞・雑誌の充実は、図書館本来の機能であるが、中古本の回収や、インターネット利用等のサービス拡大が求められている。また、各種サービスの拡大が求められている。

問11 新しい中央図書館に充実させてほしい図書分野（複数回答可）

	(人)	(%)
・文学	178	37.3
・絵本	149	31.2
・児童本	140	29.4
・文化・芸術	131	27.5
・自然科学	115	24.1
・哲学・歴史	111	23.3
・技術・産業	86	18.0
・マンガ	76	15.9
・ライトノベル	66	13.8
・社会科学	63	13.2
・言語	54	11.3
・その他	74	15.5
・不明	47	9.9

### 【考察】

今後の購入本の選書において参考とする。

問12 新しい中央図書館にあれば良いと思うものは何ですか（複数回答可）

	(人)	(%)
・飲食等の場	228	47.8
・郷土・文化・芸術資料の保存・公開の場	143	30.0
・市民の交流の場	127	26.6
・学習・趣味等の発表の場	102	21.4
・市民の相談の場(教育・職業等)	80	16.8
・その他	40	8.4
・不明	55	11.5

### 【考察】

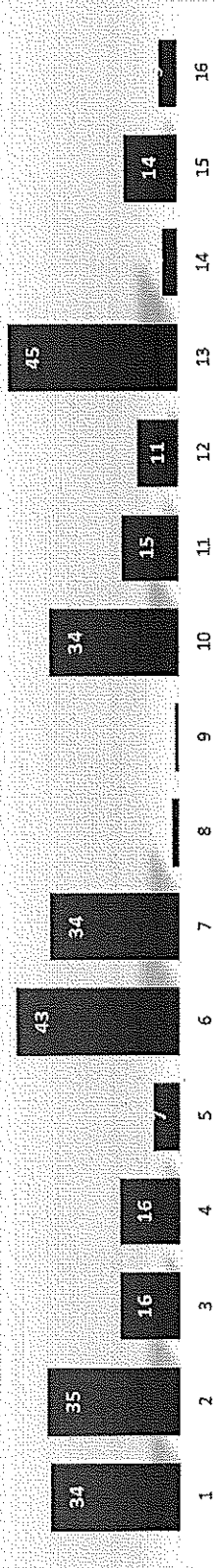
飲食等の場、市民交流の場など、現代の図書館としての新たな空間や、郷土・文化・芸術資料の保存・公開が求められていることから、図書館スペースの拡大が必要と考えられる。

問13 インターネット、SNS等の普及により社会が大きく変化する中で、中央図書館の建替再整備について、お考えをお聞かせください。

賛成等 費成等 次世代、子どもを考えた図書館 高齢者にも使いやすい図書館 明るい図書館 現在より小さい図書館 安心、落ち着く空間 多目的、誰でも使える場 都会的な図書館 情報発信機能を実践 現在より、更新する工夫 サービス内容の実現 建替場所等を検討すべき 紙媒体は重要である 他市の図書館を利用することが多い 現在は、コスト面を考えた規模にすべき 反対等

34	35	16	16	7	43	34	2	1	34	15	11	45	4	14	5	316
----	----	----	----	---	----	----	---	---	----	----	----	----	---	----	---	-----

問 13



- ・ 有効回収数477人の内、42.3%(202人)が、何らかの記載をしており、図書館への関心の高さがうかがえる。
- ・ 各設問内容と重複する意見も多く記載されているが、次世代を担う子どもたちの利用、安心して心地よく利用できる空間、全ての世代が様々な活用をすることのできる多目的利用を希望する意見が多い。
- ・ デジタル化の進む社会の中で紙媒体を不必要とする意見も少数あるものの、全体では、デジタル化にかかわるサービスを求めると同時に従来からの紙媒体による読書の必要性や重要性をうったえる意見が多い。
- ・ デジタル化や人口減少に伴う利用者の減少などに伴い施設を縮小すべき意見も少数あるものの、複合化によるコスト削減の賛成意見、また、建替えに対する賛成意見が多かった。

【考察】

デジタル化によるサービス形態の変化や、各地で注目される図書館の影響もあり、新たなサービス、利用のしやすさ、立ち寄りやすさなどを求める意見が多く、具体的な内容は少ないものの、サービスへの更新する工夫や施設の構造などへの期待がうかがわれる。

## 佐久市立中央図書館建替再整備ワークショップについて（概要）

### 1 概要

日 時：令和4年9月25日（日）～12月18日（日） 計4回

場 所：中央図書館 視聴覚室

参加者：延96名

### 2 開催内容

#### (1) 第1回

ア テーマ 「中央図書館の課題について考えよう」

4グループに分かれてグループワークを行い、現市立図書館の良い点、改善してほしい点、今後希望する点などについて意見を出し合った。

#### イ 考察

「照明、トイレ等の設備面の老朽化」、「入口、通路、読書、学習室等の各スペースが狭い」、「交流の場、展示室、様々なニーズに対応したスペースの不足」、「図書館からの情報発信、レファレンス機能の充実」、「ビジネス支援や地域の課題解決支援」などの課題がある。

#### (2) 第2回

ア テーマ 「新たな中央図書館の機能について考えよう」

第1回の結果や先進事例を踏まえ、グループワークを行い施設に備えたい機能について意見交換。

#### イ 考察

「バリアフリー、授乳スペース、多目的トイレ等」、「会話可能な場所、カフェ、イベントスペース等」、「学習室、子どもスペース等、全てのスペースの拡大が必要」、「DVD視聴室、インターネット利用による情報」といった機能が求められている。

#### (3) 第3回

ア テーマ 「複合施設の機能について考えよう」

先進事例を踏まえ、複合施設として備えたい機能について意見交換。

#### イ 考察

「会議室、トイレ等を共有することにより管理費の削減可能」、「美術館、文書館、郷土資料館、創造館、飲食、カフェ、商業」、「施設、郵便局、行政機関（住民票、子育て）」、「本・古本屋、イベントホール、アニメとのコラボ等」といった機能が求められている。

#### (4) 第4回

ア テーマ 「新たな中央図書館についてのまとめ」

今までのワークショップを経て、どのような新中央図書館を望んでいるか各班ごとに考えをまとめた。

#### イ 考察

「ゆったりくつろげるスペース」、「必要な情報を利用者が収集・活用できる場」、「子どもスペースの充実」、「図書館のミニ講座や、利用者が学んだことを発表、交流等できる多目的室」、「美術館や資料館等、文化的な施設との複合化」といったことが望まれている。

## 佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会委員名簿

(任期 令和5年1月17日～基本計画策定の日)

(敬称省略・順不同)

氏名	役職・職業等
うえまつ さだお 植松 貞夫	日本図書館協会 理事長 筑波大学名誉教授(工学博士)
もり いづみ 森 いづみ	県立長野図書館長 前信州大学附属図書館副館長
もりた ひでゆき 森田 秀之	(株)マナビノタネ代表取締役 日本建築学会会員
とよだ たかひろ 豊田 高広	フルライトスペース株式会社 特別研究員 (元田原市図書館長)
やなぎさわ たくじ 柳澤 拓道	ワークテラス佐久 共同運営委員
こぎた じゅんこ 小木田 順子	幻冬舎新書編集長
しのはら ゆみこ 篠原 由美子	元松本大学松商短期大学部教授 元松本大学図書館長

現在、図書館職員が考えている理念・コンセプト等の素案

知識と情報がますます重要となる現代の「知識基盤社会」※<sup>1</sup>において、図書館は、市民が生涯を通じ健康で生きがいのある人生を過ごし自己実現をはかれるようにするため、時代変化と技術革新が進む中で多様化する利用者ニーズに応えることが求められています。

また、図書館は、従来の「単に本を借りる場」から、「様々な情報や学習機会を提供する生涯学習の場」として重要な役割を果たすことが期待されています。

このことから、多様化する市民ニーズに応じた図書館資料の収集と提供を進め、多様な学習機会の提供に努めることが重要であることから、図書館の理念を「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」とします。

また、必要な情報や学習機会、新たな興味が**みつき**り、学習や自己実現をはかることで人が**そだ**ち、人と人が交流することで、人の輪、知識、人生観など新たな世界が**ひろ**がる図書館を目指して、「**みつける そだてる ひろがる 図書館**」をコンセプトとして掲げます。

目指す姿として、以下6本の指針を掲げ建替再整備を実施することを考えています。

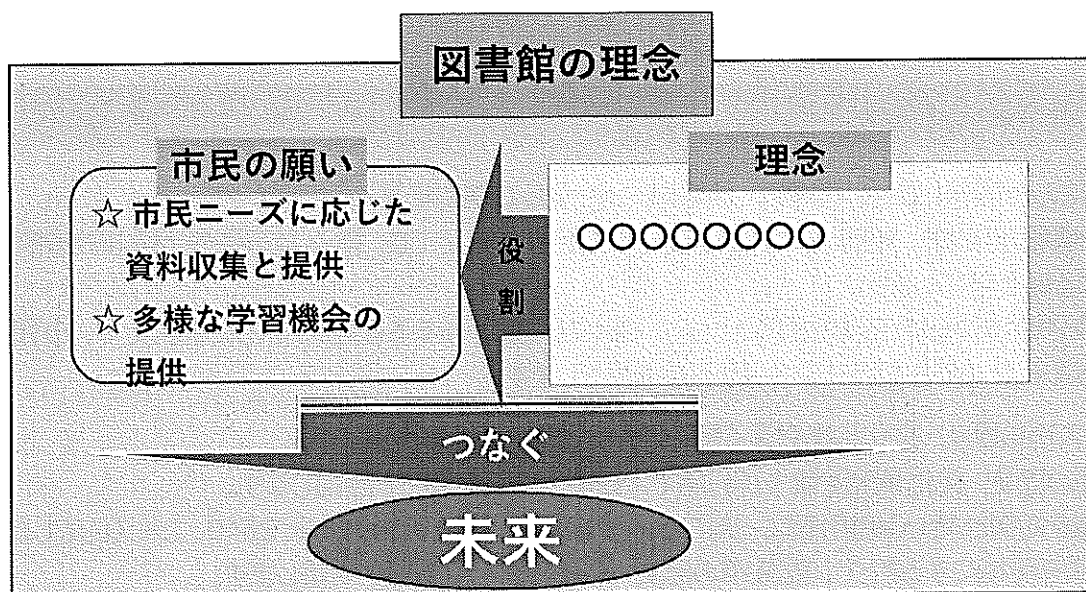
※1 知識基盤社会：新しい地域・情報・技術が、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性をました社会のこと。

【6本の目指す姿】

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| (1) たくさんの情報に出会える場   | (情報センターとしての機能等)     |
| (2) 佐久市の歴史・文化に出会える場 | (郷土資料の充実等)          |
| (3) 次世代を担う人づくりのできる場 | (子どもたちへの読書推進等)      |
| (4) 活力ある人づくりを支援する場  | (ビジネス支援、地域支援等)      |
| (5) 人と人が出会える場       | (イベントスペースや会話可能な場)   |
| (6) ゆったりくつろげる場      | (館内環境、ユニバーサルデザイン化等) |

理念（案）

「知識・情報を市民の共有財産として未来へつなぐ」



## 【再整備関係資料3】

### (3) 次世代を担う人づくりのできる場（子どもたちへの読書推進等）

本を通じて子どもの知的好奇心を喚起し、社会への関心や夢を持たせることのできる図書館を目指します。

学ぶこと、遊ぶことのできる利用しやすい環境を構築するとともに、読書をすすめる大人の活動も高まるようボランティア活動の支援を行います。

### (4) 活力ある人づくりを支援する場（ビジネス支援、地域支援等）

利用者の趣味や教養を高めるとともに、ビジネス支援や地域支援のできる図書館を目指します。

様々な分野の情報収集と情報発信を行い、利用者の生涯にわたる充実した生活と自己実現の達成の支援となる場所を構築します。

### (5) 人と人が出会える場（イベントスペースや会話可能な場）

人と人が出会い交流することで、発展する情報センターとともに利用者の憩いの場（オアシス）を目指します。

情報が媒体となり、人・グループ同志が語らい、互いに刺激し合い、時には癒しとなる場所を構築します。

### (6) ゆったりくつろげる場（館内環境、ユニバーサルデザイン化等）

「できるだけ多くの人を使いやすいように、製品や建物、環境をデザインする。」というユニバーサルデザインの考え方と、「楽しく、居心地よく過ごせる、学習できる空間」という考え方を満たした場を目指します。

誰もが気軽に利用しやすい設備を設けた場、賑やかさと静けさが共存した「利用者のいばしょ」になる空間を構築します。

## 視察について

### 1 先進地視察

#### (1) 石川県野々市市「学びの杜 ののいち カレード」

令和4年7月11日（月）

参加者 8名（図書館職員5名、市関係職員3名）

##### 【概要】

「学びの杜ののいちカレード」は、平成28年に開館した、図書館と市民学習センターの機能を融合させた文化交流拠点施設である。「本との出会い、人との出会い、市民が輝き、まちが美しくにぎわう」をコンセプトに、諸室の使用目的にリンクした蔵書の配架をすることで、相乗効果を生み出している。

また、建築物としても、視覚的効果をねらい天井に各色・形を映し出し、施設の愛称「カレード」の由来になった「万華鏡」に似た輝きを放つなどの面白さがある。

指定管理による運営の有意性を活かし、斬新な内装デザインや、自動貸出機・電子新聞・電子図書館・iPadの貸出・学習室予約システム・ICTを活用した「dマガジン」などの先進的な機能・設備を積極的に取り入れている。その反面、市の図書館担当職員は市役所生涯学習課に配置されるのみで、支払いや選書の一部は行っているものの、図書館運営の詳細までは把握できなくなっていることが今後の課題としてあげられる。

#### (2) 東京都武蔵野市「武蔵野プレイス」

令和4年10月3日（月）

参加者 8名（図書館職員6名、市関係職員2名）

##### 【概要】

「武蔵野プレイス」は、平成23年に開館し、図書館機能の他、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の4つの機能をもつ多機能施設である。武蔵野市立中央図書館（市直営）の分館であり、指定管理で運営している。武蔵野駅前の中核施設として、多世代の交流情報拠点としての役割を担い、市の施策は中央図書館が担うという役割分担が明確である。

のびやかでゆったりとした曲線により建物が造られており、フロアごとに特色を持たせることで、多様な利用目的に対応できる滞在型の図書館である。夜間開館やカフェの併設などのサービスも行っている。

### 2 協議会視察

#### (1) 安曇野市中央図書館・安曇野市豊科図書館

令和5年1月26日（木）

参加者 18名（協議会委員6名、図書館職員12名）

##### 【概要】

佐久市と同規模の人口・世帯数で、図書館の数も佐久市同様市内に5館を持つ。正規職員は中央図書館のみ配属されており、各館は会計年度任用職員（館

## 【再整備関係資料4】

長を含む)で運営している。各館全て、学習センターとの機能連携による複合施設である。

新図書館建替えにあたり、市内全図書館で順次ICタグを導入した。それにより、窓口業務や、内部の作業面で省力化が図られており、将来的にサービスの拡大が期待できる。